

史跡佐渡金銀山遺跡は位置的にいくつかの地に分布しているため、先に区分した史跡を構成する要素を、各遺跡毎に以下の表に示す。なお、これらは各要素の主なものであり、詳細については、[4. 地区別保存管理と現状変更等の取扱いの方針]の節でまとめている。

表5-1 史跡佐渡金銀山遺跡及び周辺環境を構成する要素

各遺跡を代表する遺構

	利用時期等	本質的価値を構成する諸要素等(主なもの)				その他の諸要素(主なもの)		史跡隣接地特記事項		
		中近世遺構	近代遺構(動産類含む)	遺構と一体となった土地	遺構以外の要素、本質的価値に準ずるもの	史跡の保護や良好な風致の形成に資する要素	史跡と直接関連しない施設、史跡の価値を低下させる恐れのある要素等	関連遺構・関連施設等	景観に配慮すべき周辺施設等	
鶴子銀山遺跡	■稼働時期:(伝承)天文11年(1542)~昭和21年(1946) ■盛期:16世紀末~17世紀初頭(天文~慶長年間)	地上及び地下遺構:露頭掘り跡・間歩等採鉱関連遺構、土壘等代官所跡関連遺構、荒町遺跡等鉱山集落関連遺構、天狗岩等信仰関連遺構、鶴子道等道路関連遺構	地上及び地下遺構:鶴子坑等採鉱関連遺構、鉱山事務所跡	銀・銅鉱脈を包含する鶴子銀山に関連する遺構と一体となった沢根・五十里の山中の土地		丘陵・水路等自然地形名称板・道標・四阿等二次林等植物	露頭掘り跡等の遺構直上に生育する樹木市道等道路及び関連施設鉄塔・電柱・電線類手入れの不十分な樹林	関連遺構:鶴子道等道路関連遺構、鶴子田中遺跡(鉱山集落市道等道路及び関連施設)、金北山神社等信仰関連遺跡	史跡指定地に隣接して通る林道等道路及び関連施設	
相川金銀山遺跡	佐渡奉行所跡	■開庁期間:慶長8年(1603)~慶応4年(1868) ■建物存続期:昭和17年(1942)焼失	地上遺構:土壘・石垣等役所関連遺構 地下遺構:御役所建物跡等役所関連遺構、寄勝場跡等選鉱関連遺構、炉跡等奉行所建設以前の製錬関連遺構	地下遺構:池跡・武器庫跡等近代役所関連遺構	奉行所として選地された海岸段丘面一体の土地	クロマツ林(奉行所防風林)	奉行所関連復元建造物・ガイダンス施設・遺構説明板・休憩所・便所・修景植栽等史跡整備関連施設 二次林等植物 擁壁等防災関連施設	手入れの不十分な斜面植物	関連遺構:後藤役所・小判所跡等役所及び製錬関連遺構推定地 活用施設等:史跡来訪者駐車場、ポケットパーク 周辺環境:京町等歴史的街並み	県官舎、市立病院等隣接大規模建造物 史跡指定地の東~北側に接する主要地方道相川佐和田線
	道遊の割戸	■露頭掘り採掘期間:慶長6年(1601)~明治33年(1900) ■道遊坑等採掘期間:明治32年(1899)~平成元年(1989)		地上及び地下遺構:道遊坑等採鉱関連遺構	銀鉱脈を包含し、露頭掘りによって割戸の形状になった山稜	名所的要素:相川八景文政10年(1827)「相川八景道遊秋月」に割戸が描かれる	展望台・説明板等史跡整備関連施設 二次林等植物	露頭掘り跡等の遺構直上に生育する樹木	説明板等 佐渡金銀山・青盤脈岸壁:相川金銀山を代表する含金石英脈、「相川・金銀山ジオサイト」のひとつ 佐渡金銀山関連遺跡:露頭掘り跡、狸掘り穴	史跡指定地に隣接して通る県道白雲台乙和池相川線及び沿道の落石防止施設等 「佐渡金山」(宗太夫間歩等見学施設)駐車場 河川(濁川)
	宗太夫間歩	■採掘期間:慶長6年(1601)~昭和期	地上及び地下遺構:間歩遺構	(宗太夫坑:昭和期まで採掘。指定地外?)	坑道が掘削された土地全体		坑口化粧柵・坑口扉等史跡整備関連施設 擁壁等防災関連施設 コンクリート階段等遺構上の施設	史跡標柱、説明板 指定地は宗太夫間歩の一部で、遺構は指定地外に延びている 史跡隣接地に名称板、説明板等あり 史跡指定の間歩に連続する形で現代の見学坑道が接続する坑口付近に佐渡金山資料館等	坑口(指定地外・内部非公開)は通行量の多い県道白雲台乙和池相川線に接する資料館と連絡坑道を結ぶ陸橋	
	大久保長安逆修塔	■建立年:慶長16年(1611) ■現在地に移設:明和5年(1768) ■修復:安政3年(1856)、平成8年(1996)	地上遺構:石造物・宝篋印塔等(紀年銘あり)		石造物が建立された敷地一体の空間		史跡標柱・説明板		石造物がある大安寺は大久保長安が開基 明和5年に現在地に移設する以前は本堂奥にあったとされる大安寺境内には、長安の代官宗岡佐渡寄進石造物等江戸期初期の石造物が多く残る	
	河村彦左衛門供養塔	■建立年:慶長13年(1608)	地上遺構:石造物・五輪塔(紀年銘あり)、石段		石造物が建立された敷地一体の空間		史跡標柱	樹木	石造物がある大安寺は大久保長安が開基 大安寺境内には、長安の代官宗岡佐渡寄進石造物等江戸期初期の石造物が多く残る	墓地域のタブ等樹林(市指定天然記念物)は鬱蒼とし、倒木等も見られる。境内の樹林の一部が石造物に常に影を落としている
	南沢疎水道	■工期:元禄4年(1691)~元禄9年(1696) ■稼働時期:元禄9年~現在	地上及び地下遺構:通水坑道		地下坑道を擁する土地一体			地表上の道路・民家等建築物・工作物等 連絡坑道等管理施設	指定地は南沢疎水道の一部で、遺構は指定地外に延びている 指定地隣接地に史跡名称板等設置 疎水坑道に接続する管理用連絡坑道、坑内排水処理施設等管理施設あり	

		利用時期等	本質的価値を構成する諸要素等（主なもの）				その他の諸要素（主なもの）		史跡隣接地特記事項		
			中近世遺構	近代遺構（動産類含む）	遺構と一体となった土地	遺構以外の要素、本質的価値に準ずるもの	史跡の保護や良好な風致の形成に資する要素	史跡と直接関連しない施設、史跡の価値を低下させる恐れのある要素等	関連遺構・関連施設等	景観に配慮すべき周辺施設等	
相川金銀山遺跡	相川金銀山跡	鐘楼	■時鐘:正徳2年(1712)~明治5年(1871)頃 ■改築:天保6年(1835)、万延元年(1860) ■利用:時鐘	地上及び地下遺構:鐘楼関連建造物(役所関連遺構)、時鐘		鐘楼用地として現在につたわる遺構と一体となった敷地		説明板・修景植栽等史跡整備関連施設	工作物	京町通り等歴史的街並み	電線・電柱類
	(相川金銀山跡場跡関連遺跡)	吹上海岸石切場跡	■採石時期:江戸時代初期(片辺・鹿野浦とほぼ同時期)~近代(昭和以前) ■最盛期:江戸時代初期~前期	地上遺構:矢穴、鑿跡等(石材切出し痕跡) 選鉱関連遺構	地上遺構:削岩機痕	鉱山白(上磨)等に利用された吹上石(球顆流紋岩)等からなり、矢穴等遺構が残る海岸部の土地一体		名勝佐渡海府海岸に指定された海岸景観(地形、地質、植生等)		相川鉱山遺跡・鎮目奉行墓(県指定史跡)が隣接。弘化2年(1845)紀年銘があり、現地の石材(流紋岩)を使用したとみられる	史跡指定地に隣接して通る県道佐渡一周線及び沿道の落石防止施設等(ロックシェッド、ロックネット、モルタル擁壁等)等 史跡に隣接する駐車場・広場
		片辺・鹿野浦海岸石切場跡	■採石時期:元和から寛永年間(1615~1643)~昭和30年代 ■最盛期:江戸時代前期~中期	地上遺構:矢穴、鑿跡等(石材切出し跡) 選鉱関連遺構	地上遺構:石材切出し痕(河川護岸)	鉱山白(下磨)等に利用された片辺礫岩(花崗岩質礫岩)等からなり、矢穴や採石で垂直の崖地形となった土地一体		鹿野浦海岸:片辺礫岩と呼ばれる花崗岩角礫からなり、「相川・金銀山ジオサイト」のひとつ 名勝佐渡海府海岸に指定された海岸景観(地形、地質、植生等)		隣接して旧県道佐渡一周線が通る 南端の史跡に隣接して戸中川(コンクリート護岸)、海岸保全施設(コンクリート防潮堤)	
	相川金銀山跡近代遺跡	大立地区	■稼働時期:明治10年(1877)~平成元年(1989)	地上及び地下遺構:間歩跡	地上及び地下遺構:大立堅坑橋、捲揚室等採鉱関連遺構・動産類	斜面と狭隘な平地を利用して建造された近代の採鉱関連遺構と一体となった土地		説明板等史跡整備関連施設 二次林、人工林等植物 擁壁等防災関連施設	石碑	関連遺構:大立堅坑関連選鉱施設、地下坑道等生産関連遺跡	隣接して県道白雲台乙和池相川線が通る
		高任・間ノ山地区	■稼働時期:明治22年(1889)(高任堅坑)~平成元年(1989)	地下遺構:間山(鉱山集落跡)	地上及び地下遺構:高任坑等採鉱関連遺構、粗砕場等選鉱関連遺構・動産類、機械工場等鉱山管理施設関連遺構・動産類、搗鉱場等製錬関連遺構、河川護岸等基盤整備関連遺構、軌道等運搬関連遺構	斜面と谷部を切り開いて建造された近代の選鉱関連遺構等と一体となった土地	(本質的価値に準ずるもの) 旧鉱山事務所、旧浴場、倉庫等小屋類	説明板・見学道等史跡整備関連施設 丘陵斜面、河川(濁川)等二次林等植物 擁壁等防災関連施設、駐車場	遺構周辺部の樹林道路(県道、管理用道路)及び附属施設、河川施設、電柱・電線類、便所等便益施設、食堂等	関連遺構:鉱石運搬軌道跡等	隣接して県道白雲台乙和池相川線が通る
		北沢地区(御料局佐渡支庁跡を含む)	■稼働時期:明治8年(1875)~昭和27年(1952)	地下遺構:北沢町(集落跡)	地上及び地下遺構:浮遊選鉱場等選鉱関連遺構、火力発電所発電機室等鉱山管理施設関連遺構、インクライン等運搬関連遺構、御料局佐渡支庁役所関連遺構	南北の段丘斜面と中央を流れる河川沿いの平地を利用して建造された近代の選鉱関連遺構等と一体となった土地	(本質的価値に準ずるもの) 鉱山関連小屋類	工場群等平面表示・解説板等史跡整備関連施設 丘陵斜面、河川(濁川)等二次林等植物 擁壁等防災関連施設、駐車場	浮遊選鉱場等遺構上の樹木 県道等道路及び関連施設、橋梁等河川施設、電柱・電線類	旧鉱山関係小屋等	県官舎等段丘上の大規模建造物
		戸地地区	■稼働時期:大正8年(1919)~昭和52年(1977)		戸地川第二発電所関連歴史的建造物及び排水路等関連遺構・発電機器類 敷地外周石垣	発電所が建設された丘陵裾に広がる敷地一体				水供給パイプライン跡等戸地川第二発電所関連遺構(未確認) 戸地川第一発電所跡	

(追加指定予定地)

相川金銀山遺跡	相川近代金銀山跡	大間地区	■稼働時期:明治25年(1892)~平成元年(1989)	地上及び地下遺構:港湾護岸・トラス橋等運搬関連遺構、大間港火力発電所跡等鉱山管理関連遺構	鉱石等鉱山関連物資の搬出入のために建造された海岸部に面した敷地一帯		説明板・広場等遺跡整備関連施設	ボートハウス等建築物、電柱・電線類、消波ブロック等工作物、構造物 その他物品の堆積等	関連遺構:鉱石運搬軌道跡等	隣接する建築物、工作物等
---------	----------	------	------------------------------	--	-----------------------------------	--	-----------------	---	---------------	--------------